

**製品名: APLP2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe84611**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.71mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW: 87 kDa ; Observed MW: 87-140 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	APLP2
別名	Aplp2; APPH; APPL2; CDEBP;;APLP2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q06481
免疫原	ヒト APLP2 由来の合成ペプチド

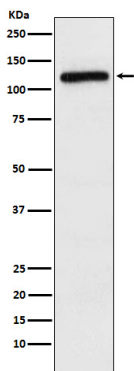
**背景**

止血調節に関与する可能性がある。可溶性形態は凝固因子に対する阻害作用を有する可能性がある。細胞内 G タンパク質シグナル伝

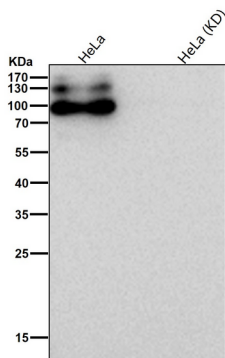
達経路と相互作用する可能性がある。DNA の 5'-GTCACATG-3' (CDEI ボックス) に結合する可能性がある。トリプシン、キモトリプシン、プラスミン、第 XIA 因子、血漿および腺性カリクレインを阻害する。線維芽細胞において、Cu/Zn 一酸化窒素触媒による GPC1 ヘパラン硫酸側鎖の自己分解を調節する。

## 研究分野

## 画像データ



HeLa 細胞溶解物中の APLP2 発現のウェスタン プロット分析。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。